

# 「唯識」から浄土教の菩薩像を問う

虚妄分別(煩惱)から意言分別(智慧)へ

うみの こうけん

海野孝憲著

▼46判・並製カバー138頁・本体1,000円+税

2021年3月刊行



唯識思想で説かれる菩薩と仏の正覚の智慧の本質を背景として、浄土教で説かれる法蔵菩薩と阿弥陀仏の根源の意味を明らかにする。

## 【目次】

序文

### 第一章「虚妄分別」と「意言分別」とは

- 一、ラトナーカラシャーヤンティの唯識説——虚妄分別の成立
- 二、虚妄分別(煩惱)と菩提について
- 三、虚妄分別とは何か
- 四、虚妄分別(迷い)から意言分別(智慧)へ
- 五、ラトナーカラシャーヤンティの、梵文『般若波羅蜜多論』の「菩薩の修道論」
- 六、「意言分別」も、「虚妄分別」のアーラヤ識の如く、種子を有する
- 七、「意言分別」とは何か
- 八、意言分別とはどのような分別であるか
- 九、意言分別と解脱(唯識の真観)
- 十、「虚妄分別」より「意言分別」へ、さらに「無分別智(唯識の真観)へ」
- 十一、「無分別智」の成立
- 十二、梵文『入無分別陀羅尼經』を引用して
- 十三、釈尊の「金剛座」での沈黙と、その後の伝道、説法の開始
- 十四、無分別智の行者は「唾人の如く」、無分別後得智の行者は「非唾人の如し」
- 十五、「無分別智」は無分別であるのに、何故、「智」であるか

### 第二章『無量寿経優婆塞願生偈註』(浄土論)

- 一、『浄土論』の修行者は法蔵菩薩である
- 二、「一法句者謂清浄句」とは
- 三、「一法(法身、無分別智、清浄句)と一法句(受用身)と変化身、後得清浄世間智について

### 第三章

#### 曾我先生の法蔵菩薩Ⅱ阿摩羅識説に菩薩像を問う

- 一、阿摩羅識(amalavijnana)とは何か
- 二、阿摩羅識という言葉が消えて「幻師」という言葉が現れる
- 三、「幻師」という言葉は『撰大乘論』に引き継がれる
- 四、菩薩は因果の相を、幻師の如く了別する
- 五、菩薩は無分別後得智・幻術師・受用身(仏身)である

### 第四章 唯識より浄土教の菩薩像を問う

- 一、「往相廻向」「還相廻向」について改めて問う
- 二、金剛法座の釈尊に「往相、還相論」は可能であるか
- 三、『浄土論註』の還相廻向に対する小川説批判
- 四、菩薩はすでに受用身(仏身)である
- 五、「巧方便廻向」について小川説を批判する——菩薩は衆生に先がけてすでに成仏している
- 六、「善巧摂化」と十波羅蜜
- 七、十波羅蜜とは何であるか
- 八、『大乘莊嚴論』等より、浄土教の菩薩像を問う
- 九、菩薩の「往相廻向」「還相廻向」について

#### ◆著者略歴

昭和十一年、石川県白山市に生まれる。昭和三十四年、大谷大学文学部仏教学科卒業。昭和三十九年、名古屋大学大学院印度哲学専攻、博士課程単位取得。名古屋大学文学部助手、名城大学教授を歴任。現在、名古屋大学名誉教授。文学博士(論文博)、名古屋大学。真宗大谷派嗣講。瑞宝章受章。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
海野孝憲著	
法蔵館	
本体1,000円+税	
「唯識」から浄土教の菩薩像を問う	
虚妄分別(煩惱)から意言分別(智慧)へ	
ISBN:978-4-8318-8788-7 C3015	
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

哲学・宗教